

次の表計算ソフトの記述を読み、設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

COUNTIF 関数

範囲内のセルの中で条件に一致するセルの数を返す。

書式：COUNTIF（範囲，条件）

HOUR 関数

時刻のシリアル値を，0（午前0時）～23（午後11時）の値で返す。

書式：HOUR（シリアル値）

INDEX 関数

範囲の中から，指定した行位置・列位置のセルの値を返す。

書式：INDEX（範囲，行番号，列番号）

MATCH 関数

検索値を範囲内（1列または1行を設定）で検索し，範囲内での相対的な位置を返す。位置は範囲の左上を1とする。照合の型は，0で検索値と完全に一致する値，1で検索値以下の最大値，-1で検索値以上の最小値を検索する。検索値が見つからない場合はエラーを返す。

書式：MATCH（検索値，範囲，照合の型）

RANK 関数

範囲内の数値を並べたときに何番目になるか（順位）を返す。順序は，降順の場合は0，昇順の場合は1を設定する。なお，範囲内の検査値に同じものがあれば同じ順位を返し，以降の順位に欠番が生じる。

書式：RANK（検査値，範囲，順序）

VLOOKUP 関数

検索値を左端に含む行を範囲の中から検索し，指定した列位置の値を返す。検索の型に0を指定すると検索値と完全に一致する値を検索し，1を指定すると検索値と一致する値がない場合に，検索値未満で一番大きい値を検索する。なお，該当する行が見つからなかった場合は，エラーを返す。

書式：VLOOKUP（検索値，範囲，列位置，検索の型）

式

=に続けて計算式や関数などを入力する。

&

文字列の結合をする演算子。

セル番地の参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

他のワークシートの参照

「ワークシート名！セル番地」とすることで他のワークシートのセルを参照することができる。

J スポーツクラブでは、表計算ソフトを利用して会員管理などを行っている。今回、10月の参加者表を使用し、人気プログラムランキングを表示することになった。なお、会員は、各プログラムの利用前にカードリーダーにカードをかざすことにより参加者表にデータが追加される。また、時間をずらしてかざすことはない。

	A	B	C	D	E
1	会員番号	プログラム	コース	日付	時間
2	12002	P004	W	2015/10/1	15:53
3	12010	P004	W	2015/10/1	15:55
4	13011	J002	B	2015/10/1	13:58
5	15005	S002	I	2015/10/1	17:54
6	13003	S009	A	2015/10/2	9:53
7	12013	J003	C	2015/10/2	9:53
8	15012	S003	A	2015/10/2	9:54
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
1000	12009	P003	B	2015/10/31	17:54

図1 「参加者表」ワークシート

J スポーツクラブで用意しているプログラムは24種類である。

	A	B	C	D
1	プログラム	プログラム名	コース	コース名
2	F001	フィールド	T	テニス
3	F002	フィールド	G	ゴルフ
4	F003	フィールド	S	サッカー
5	F004	フィールド	F	フットサル
6	J001	ジム	P	ポジティブ
7	J002	ジム	P+	ボディプラス
8	J003	ジム	C	コンディショニング
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
25	S009	ダンス	A	上級者

図2 「プログラム表」ワークシート

<設問 1> 次の「人気プログラムランキング」ワークシートの作成に関する記述中の
に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。ただし、同順はないものとする。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	プログラム	参加人数	順位		順位	プログラム	プログラム名	参加人数
2	F001	83	4		1	J003	ジムコンディショニング	137
3	F002	57	5		2	S005	エアロビクス中級者	128
4	F003	28	13		3	S001	エクササイズ初級者	113
5	F004	43	7		4	F001	フィールドテニス	83
6	J001	56	6		5	F002	フィールドゴルフ	57
7	J002	39	9					
8	J003	137	1					
⋮	⋮	⋮	⋮					
25	J005	25	16					

図 3 「人気プログラムランキング」ワークシート

セル A2 は、次の式を入力し、セル A3～A25 まで複写した。

= プログラム表!A2

セル B2 は、参加人数を求めるため次の式を入力し、セル B3～B25 まで複写した。

= (1)

セル C2 は、参加人数の多い順に順位を付けるため次の式を入力し、セル C3～C25 に複写した。

= (2)

次に、参加人数が上位 5 位に入るプログラムだけを表示するため、セル E2～E6 に 1～5 を入力し、セル F2 は順位 of プログラムを表示するため次式を入力し、セル F3～F6 まで複写した。

= (3)(\$A\$2:\$C\$25, (4)(E2, \$C\$2:\$C\$25, 0), 1)

同様に、セル H2 は参加人数を表示するため次式を入力し、セル H3～H6 まで複写した。

= (3)(\$A\$2:\$C\$25, (4)(E2, \$C\$2:\$C\$25, 0), 2)

また、G 列のプログラム名は、「プログラム表」のプログラム名とコース名の文字列を連結したもので、セル G2 に次式を入力し、セル G3～G6 まで複写した。

= (5)(F2, プログラム表!\$A\$2:\$B\$25, (6), 0)
& (5)(F2, プログラム表!\$A\$2:\$D\$25, (7), 0)

(1) の解答群

- ア. COUNTIF(参加者表!B2:B1000, A2)
- イ. COUNTIF(参加者表!\$B2:\$B1000, A2)
- ウ. COUNTIF(参加者表!\$B2:\$B1000, A\$2)
- エ. COUNTIF(参加者表!\$B\$2:\$B\$1000, A2)

(2) の解答群

- ア. RANK(B2, B2:B25, 0)
- イ. RANK(B2, \$B\$2:\$B\$25, 0)
- ウ. RANK(\$B\$2, B2:B25, 0)
- エ. RANK(\$B\$2, \$B\$2:\$B\$25, 0)

(3) ～ (5) の解答群

- ア. COUNTIF イ. IF ウ. INDEX エ. MATCH
- オ. SUMIF カ. VLOOKUP

(6) , (7) の解答群

- ア. 1 イ. 2 ウ. 3 エ. 4

<設問 2> 次の「時間帯別利用者数」ワークシートの作成に関する記述中の に
入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

初めに、「時間帯別利用者数」ワークシートの A 列と B 列に次のように入力した。

	A	B	C
1	開始時間	時間帯	利用者数
2	7	AM7	35
3	8	AM8	22
4	9	AM9	37
5	10	AM10	87
6	11	AM11	67
7	12	AM12	16
8	13	PM1	74
⋮	⋮	⋮	⋮
15	20	PM8	53

図 4 「時間帯別利用者数」ワークシート

次に、「参加者表」ワークシートの時間から時間帯を求めるために F 列を追加する。

	A	B	C	D	E	F
1	会員番号	プログラム	コース	日付	時間	時間帯
2	12002	P004	W	2015/10/1	15:53	PM3
3	12010	P004	W	2015/10/1	15:55	PM3
4	13011	J002	B	2015/10/1	13:58	PM1
5	15005	S002	I	2015/10/1	17:54	PM5
6	13003	S009	A	2015/10/2	9:53	AM9
7	12013	J003	C	2015/10/2	9:53	AM9
8	15012	S003	A	2015/10/2	9:54	AM9
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
1000	12009	P003	B	2015/10/31	17:54	PM5

図5 変更後の「参加者表」ワークシート

セル F2 に次式を入力し、セル F3～F1000 まで複写した。

= (8)

さらに、時間帯別利用者数を求めるために、「時間帯別利用者数」ワークシートのセル C2 に次式を入力し、セル C3～C15 まで複写した。

= (9)

(8) の解答群

- ア．VLOOKUP(E2, 時間帯別利用者数!\$A\$2:\$B\$15, 2, 0)
- イ．VLOOKUP(E2+1, 時間帯別利用者数!\$A\$2:\$B\$15, 2, 0)
- ウ．VLOOKUP(HOUR(E2), 時間帯別利用者数!\$A\$2:\$B\$15, 2, 0)
- エ．VLOOKUP(HOUR(E2)+1, 時間帯別利用者数!\$A\$2:\$B\$15, 2, 0)

(9) の解答群

- ア．COUNTIF(参加者表!F2:F1000, B2)
- イ．COUNTIF(参加者表!\$F2:\$F1000, B2)
- ウ．COUNTIF(参加者表!\$F2:\$F1000, B\$2)
- エ．COUNTIF(参加者表!\$F\$2:\$F\$1000, B2)